

宝木だより

第28号

発行 宝木地区まちづくり協議会

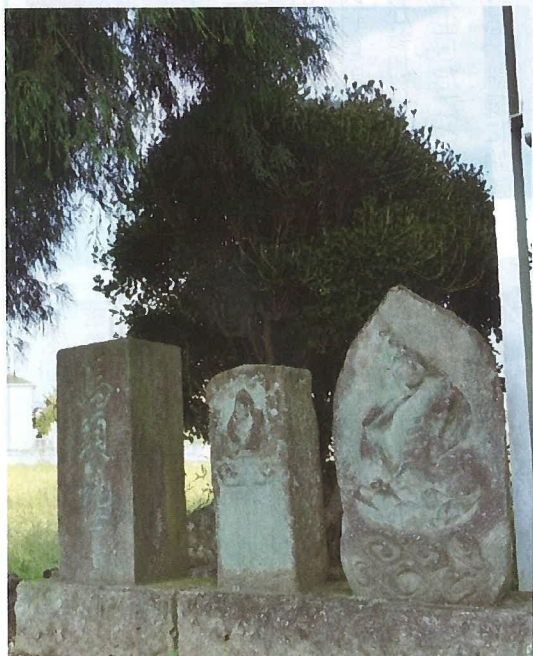
(宝木地域コミュニティセンター内)

TEL・FAX 028-624-0531

宝木ぶらり

馬頭観世音碑

10



西が岡小学校の北側の路傍に「馬頭観世音」の石碑がある。(写真上右) 近くの農家の土地で地面はコンクリートできれいに管理されている。「馬頭観世音」の文字も一目で分かるが、碑の側面に文字の痕跡が見られるも全く読み取れない。昭和60年西が岡小学校建設時にこの地に移転された。

西中丸公民館正面左手に3基の石碑が立ち並んでいる。(写真左上) その左側端にあるのが「馬頭観世音」の字が読み取れる碑である。碑の右側面には天保十四年(1843年)??春二月の文字がみられる。左側面は建立者とみられる文字があるものの判読困難である。

近世以降国内の流通が活発化し、馬が移動や荷運びの手段として使われることが多くなった。これに伴い馬が急死した路傍などに馬頭観音が多く祀られ、動物への供養塔としての意味合いが強くなっていった。「馬頭観世音」の文字だけが彫られた碑は、多くが愛馬への供養として祀られたものである。馬が農村で農耕用に飼育されると馬頭観世音の碑が農村のあちこの路傍に多くみられるようになった。即ち農村にみられる馬頭観世音は、農家で飼っている馬の健康亡くなった馬の霊を供養するために

建立されたもので、農村では馬がたくさん飼われていたことが判る。これは戦後昭和30年代から農地の転用や、農業の機械化に伴い飼馬がなくなり、農家の敷地に移転されたり、農耕の邪魔にならない地に移転され保存されている。西中丸公民館の碑もこれらによるものであろう。

このほか、文字は判読できないが先祖からの言い伝えにより馬頭観世音の碑として大切に管理されているものが駒生町の旧家に保存されている。(写真右上)

また、西が岡小の西方100メートルの地にある上駒生公民館の敷地の小屋に十九夜の碑と共に馬頭観世音の碑が祀られている。(写真左下)



災害に備える 地区防災訓練



9月1日(日)宝木地区防災訓練が宝木小学校において実施されました。訓練には地区内11自治会と協力団体など約300名が参加しました。

震度6の地震が発生したことを想定し「自分の身を守る」訓練に始まり避難者数の把握と誘導訓練、宝木分署署員による救急救命・救助訓練、消火訓練、資機材の活用や炊き出しなど行いました。



台風19号

新川が越水



10月12日関東・東北を襲った台風19号は、宇都宮市においても田川の氾濫などにより多大被害をもたらしました。

新川も平成22年に宝木中学校西側に調整池(左写真)ができてからは大きな越水もありませんでした。しかし、今回は宝木2丁目を南北に走る新川の側道でもある市道、そして団地街道にも冠水しました。

それが細谷町内に流れ込み、「みちおせ保育園」北方の市道では約35センチほど冠水するなど一時自動車の通行ができませんでした。幸い人命や住宅への被害はありませんでした。

改めて、自然災害に対する備えの大切さを認識されたことでしょうか。



宝木地区まちづくりビジョン



をむかえました。

昨年4月から毎月策定委員会を開催(写真)して住んでよかった・住みたい宝木地域にするための課題の見出しとその対策について話し合いをしてきました。

10月24日の委員会において最終案が全員一致で承認されました。その大筋について地区広報紙「宝木だより」特集号を臨時に発行して、皆様にお届け致します。

また、この策定に当たりアンケート調査に御協力を頂きました地域の皆様ありがとうございました。

長期にわたりご協力・ご支援をいただきました策定委員の皆様そして市当局の皆様にお礼申しあげます。



昨年度から2か年計画の作業であつた宝木地区の将来像を描く策定も大詰め

敬老祝賀会

本年は二千名超える

9月8日とちぎ健康の森において、令和元年度宝木地区敬老祝賀会を開催しました。本年度の招待者は2025名で毎年約100名が増えており、まさに長寿社会といつことでしょう。

祝賀会は主催者地区自治連・地区社協会長の挨拶、小学生代表の祝いの言葉、市長が駆けつけ祝辞を頂きました。

恒例のアトラクションは、ボランティアグループ「華乃会」による唄と舞踊でした。全員素晴らしい衣装を身



に着け、ある方はかつらを使つなどして懐かしい唄と踊りを披露され楽しいひと時を過ごされました。

福祉輪投げ大会

10月26日宝木小学校において高齢者の交流と親睦を図ることを目指して輪投げ大会を開きました。

団体入賞

優勝 宝木町一の三

準優勝 宝木町二の三

第3位 宝木細谷

個人入賞者

優勝 米澤 孝子

準優勝 柳澤 栄子

第3位 桜井 衛子



市長を招きまちづくり懇談会

10月25日佐藤市長を迎え4年に1度のまちづくり懇談会を開催しました。まず大金まちづくり会長から地区の活動状況として①ケアシステム宝木地区支え合い会議の活動、地区まちづくりビジョンの策定について報告を兼ねての開会挨拶があり、次いで、市長から少子高齢化に向けての宇都宮市の将来構想等についてお話がありました。

続いて地区代表から①コンパクトシティ構想②新川の豪雨時の越水対策等について質問があり、新川については、駒生川への引水計画がはじめて出され期待しています。

その後自由討議となり、市が宝木地域に計画している大谷インターチェンジ事業について地元として多くの質問がりましたが、市から計画の内容を含めて明瞭な口調で説明回答がなされていました。



われらが自治会の誇り・自慢 4

公民館利用の活動

西中丸自治会

自律支援グループによるヨガ教室・脳活トレーニング、いきいきサロンでの物づくり・輪投げ・カラオケ教室、老人クラブによる子供対象の算数パズルクイズ・理科教室、市の出前講座（交通安全・消費生活）などなど公民館を住民が楽しくまた社会勉強として、更には地域の方々の居場所となる等多種多用に利用しています。



自治会長大谷インター 計画について勉強

9月14日定例自治会長会議において本地区に整備される大谷スマートインターチェンジについて研修しました。市道建設課の担当者を招き整備内容や今後の進め方などについて説明を受けました。市は、今後地域の皆様と意見交換を継続的に行いながら事業に取り組んでいくとの事で、是非市民との対話を継続していただきたいと思います。

また「魅力ある宝木地域をつくるためにも地域の皆さんも地域の意見交換の場に出られるなど、まちづくりに積極的に参加していただければありがたい」との話がなされ、話を聞いていただきました。



高齢者の自転車教室

地区交通安全推進協議会は、高齢者を対象に自転車教室を開催。特に右左折時の合図の励行と安全確認を学びました。受講者には



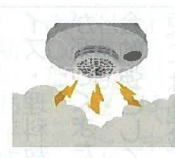
自転車運転免許証が交付されました。

婦人防火クラブ 意見交換会

ボランティアは楽しくという意味合いを入れ、クラブ初めての火災予防と火が出たときの初期対応を研修するとともに昼食を皆さんで映画「そして父になる」を鑑賞しました。



火災の多い季節です 火災報知器備えていますか 婦人防火クラブ



全国的に住宅火災による死者が増えていいます。特に犠牲者の方の大半が(六十五)歳を

こえる高齢者で、就寝中に火災に遭遇することで発見が遅れ、逃げ遅れ犠牲になるケースが増えています。警報器は、階段、寝室が義務づけられていますが、台所などに供えることも有効かと思えます。10年以上経過したものは電池効力が切れているので交換をお願いします。

市民弓道大会で 5回目の優勝

9月29日地区対抗市民大会弓道部で宝木地区は5回目の優勝を飾りました。出場選手は次の通りです。
選手 矢古宇秀樹
紙本 栄
森 智之



コミセンの催しごと



防災教室



外国(タイ)を知ろう



コーラスサークル



福祉研修会



子どもたちの広場